



安心できる居場所が、 まちのあちこちに。

家でもなく、職場でもない。

ふと肩の力を抜ける場所が、市内のあちこちにあります。

誰かとゆるやかにつながりながら、自分らしく過ごせる場所。

ボランティアの皆さんが作り出した、

まちに広がる“もうひとつの居場所”を訪ねました。



地域の人たちの思いから生まれた子ども食堂。あたたかいごはんを囲みながら、地域の大人たちと子どもたちの笑顔が行き交う場所です。ここでの時間が、まちとのつながりを自然に広げています。

ごはんを囲む時間が、
居場所になる。

子ども食堂

「最近の調査からも自己肯定感が低い子どもが増えています。子どもが自分らしくいられる場所をつくりたかったんです」と話してくれたのは、なわてこども食堂代表の山本さん。会場には次々と利用者が訪れ、ボランティアの皆さんも大忙し。できたての手作りごはんが大人300円、子ども100円で提供され、同じテーブルを囲む保護者同士が子育てや地域のことを語り合う姿も見られます。会場には子どもたちが思い切り遊べるスペースも用意され、食後はおもちゃづくりや元気いっぱい走り回る子どもたちの姿がひろがります。

この日のメニューは
カレーライス、小松菜と厚揚げの甘辛炒め、春雨サラダ。



なわてこども食堂 代表
山本さん

なわてこども食堂

① 第2土曜日

📍 市立公民館 料理室・会議室(市民総合センター 3階)

子ども居場所づくり
(なわ庭)

① 第1・3土曜日

📍 四條畷 地域交流スペース ※なわてこども食堂と共同運営

子どもたちの楽しそうな様子に目を細めながら、四條畷の後藤さんは「もともと幅広い世代が集う居場所づくりをしたいと考えていました。施設として試行錯誤を重ねるなかで、なわてこども食堂さんから声をかけていただいたんです」と、四條畷での共同運営のきっかけを語ります。食事の提供にとどまらず、世代を超えた出会いや支え合いが生まれる地域の拠点として、子ども食堂の取り組みは市内でひろがりを見せています。「ここで出会った保護者同士が新しいイベントを企画するなど、ここを起点に新しい輪が生まれています。それがたまらなくう

食堂を切り盛りするボランティアの皆さん
献立づくりや食材調達など運営を支えています

なじみの人が増えて
世代を超えてつながることが
活動の原動力です！



keyword ひろがり

れしいんです」と山本さん。地域の中で、人と人とのつながりも少しずつひろがっています。

同じ子育て世代とつながれる貴重な場所です！



多世代が集う賑やかな光景は、施設利用者にとってもよい刺激になっています。



四條畷
後藤さん

市内でひろがる 子ども食堂の輪

開催時間など
詳しくはこちら



🏠 さのさん家のにこやかこども食堂

① 毎月土・日曜日・祝日のうちいずれか1日

📍 江瀬美町24番2号

子ども大人も
どなたでも
気軽に来てください

開催日はLINE
でお知らせ



佐野さん

🏠 たわら しょくどう
多笑食堂

① 毎月第1水曜日(変更の場合あり)

📍 グリーンホール田原
料理室

寄附いただいた
田原産の野菜を
取り入れてます！



相良さん

喜んでくれる
子どもの笑顔が
原動力！

keyword つながり

気軽な集まりから、 つながりが広がる。

地域交流
ひろば

地域交流ひろばは、市民が気軽に集い、語り合い、活動を通して交流を深める場です。福祉活動などに関する情報や行政などの各種サービスを知る発信の場にもなっています。

地域交流ひろばの中心となっているのは、ボランティア団体「おもちゃライブラリー」の活動です。布やフェルトを使った手づくりのおもちゃを一つひとつ丁寧に制作し、市内のイベントなどで子どもたちに届けています。会場では、おもちゃづくりに静かに没頭する人、作り方を教え合いながら手を動かす人、お菓子を囲んで世間話に花を咲かせる人など、この日集まった全員が自分のペースで思い思いの時間を過ごしていました。「誰かの話を聞いているだけでも楽しいんです。ほどよい距離感が心地よくて。自分のペースで無理なく参加できるので、長く続けられているんだと思

います」おもちゃライブラリー立ち上げ時から参加している秋山さんが長年続けてきた秘訣を教えてくださいました。「私自身、結婚を機に九州から四條畷へ来て、3人の子どもの育ててきました。大変な時期もありましたが、近所の人たちに支えられてきたんです。子どもを預かってもらうなど、本当に心強かった。人とのつながりに助けられてきたからこそ、人と人がつながれる場所をつくりたいと思いました。こうしたつながりが生まれる場合は、市民にとって大切だと思います」そう語るのは、おもちゃライブラリー代表の福永さん。「この場所での活動だけでなく、たんぽぽの綿毛のように、こ

地域交流ひろば

① 第1・3水曜日10時～15時
🏠 福祉コミュニティセンター
ふれあいルーム

おもちゃライブラリー
代表 福永さん

お茶だけでも
気軽に飲みに来て
くださいね



こで生まれたつながりが市内へ広がり、新たな居場所が生まれてほしいんです」その言葉の通り、地域交流ひろばをきっかけに、折り紙や編み物など、それぞれの“好き”を通じた新たなサークルも生まれています。人と人とのつながりが新たなつながりを生む。——福祉コミュニティセンターの中で40年近く紡いできた交流は地域の大事な宝になっています。



ことばを越えて、
同じまちでつながる。

さまざまなルーツを持つ人たちが、日本語を学ぶ四條畷市にほんご教室。文化や言葉は違っても、同じまちで暮らす仲間。学び合

四條畷市
にほんご教室

四條畷市にほんご教室には、さまざまな国や地域にルーツを持つ人たちが集まります。市販のテキストを開いて会話の練習をする人。スマートフォンの画面を見せながら、分からない言葉を質問する人。ボランティア講師が受講生と向き合いながら日本語学習を支えています。学習を進める中で、家族のことや日々の暮らしについて会話が弾むことも。普段はマンツーマンで学習を進めますが、お花見や盆踊りなどの受講生同士の交流イベントも開催しています。『「今日は何かいいことあった?」』。そんな何気ない会話も、この教室の日常です。交流を通じて、それまで持っていた国のイメージとは違う一面や文化に触れられ、私自身も刺激をもらっ

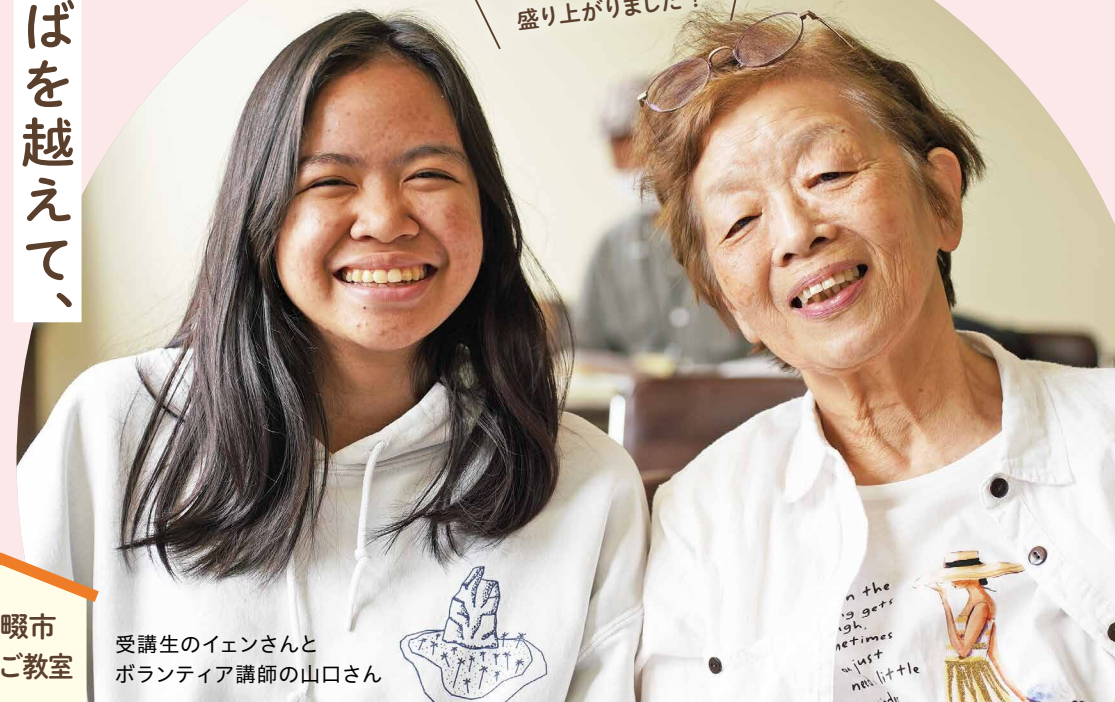


ボランティア講師
西川さん



keyword ぬくもり

今日は
お互いの家族の話で
盛り上がりました！



受講生のイエンさんと
ボランティア講師の山口さん

ています。日々の暮らしのなかで、気を張らずに過ごせる居場所になればうれしいですね」そう話すのはボランティア講師の西川さん。さまざまなルーツを持つ人たちが集い、一緒に学ぶ四條畷市にほんご教室。日本語学習の場として、そして地域で安心して暮らすための支えとして活動を続けています。

四條畷市にほんご教室

① 木曜日10時30分～12時
金曜日18時30分～20時
🏠 市立公民館
(市民総合センター
3階)
🗨️ 問合 文化・スポーツ課



今年の4月に日本
にきました。先生が
やさしく日本語を教
えてくれています。

イエンさん(フィリピン出身)



初参加のナディームさん(アメリカ出身)。覚えたばかりの日本語で自己紹介し、温かな拍手が送られました。